



ぜひ、おうちのかたといっしょ
によんでください！

1年生のみなさん、入学おめでとうござ
います。2,3,4,5,6年生のみなさん、
進級おめでとうございます。学校司書の
齊藤博恵です。学校司書は、先生方と
力を合わせて、全クラスの図書を使っ
た学習のお手伝いをします。新浜小の
みんなが読書が大好きになってくれるよ
うに、がんばります。

「ひらいてワクワク めくってドキドキ」 こどもの読書週間 4/23～5/12



子どもたちにもっと本を！との願いから、
「こどもの読書週間」は1959年(昭和34
年)にはじまりました。もともとは、5月5日

の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、2000年より、今の4月
23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日になりました。小さいときから本を読む楽
しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとっても大事なことです。「こどもの読書
週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。(読書推進運動協議会ホー
ムページより)

★どんな本を読んだらいいか、わからないときは…おすすめの本のリストがあります。

千葉県教育委員会子どもの読書活動啓発リーフレット「図書館司書が選んだ『子どもに読
んでほしい本100選』」…小学生におすすめの本のリストが載っているホームページで
す。(おうちの人と、時間があるときに一緒に見ましょう) このリストにある本は、行徳
図書館など、公共図書館で借りることができます。

としよしつ し 図書室からののお知らせ

- 4月、新しいクラスでの最初の「図書の時間」には、「オリエンテーション」といって、図書室の利用案内をしています。オリエンテーションをしたクラスから、図書の貸出が始まります。児童がそれぞれの「読書のめあて」(1週間に何冊の本を読みたいか)を決めて、「読んだ本をすべて記録していくこと」を励んでいきたいと願っています。図書室で借りた本だけでなく、家にあった本や公共図書館で借りた本なども、読んだらすべて記録しましょう。
- 学校司書は、児童に「必ず1冊は9類(文学、物語の本)を借りましょう」と呼びかけています。「なんで9類の本を読まなくちゃいけないの?」ときかれることがよくありますが、物語を楽しんで読んでいくうちに、ストーリーを追うことで読解力がついたり、登場人物の心情を読み取ることができるようになっていたり、知らず知らずのうちに語彙(ボキャブラリー。自分が使える言葉)が増えたりして、国語の問題を解く力がついていくと考えるからです。算数の文章題も、より理解しやすくなると思います。難しい本でなくて構いません。図書室で本を手にとったら、中を見て、今の自分が楽しんで読めそうな本を借りてみてください。おうちのかたとともにぜひ、図書室で借りた本のことを話題にしてください。
- オリエンテーションの時に、「各学年の国語の教科書で紹介されている本(○年生で読みたい本)のリスト」を配ります。各クラスの図書の時間には、このリストを使いますので、必ず持ってきてください。



うちどく ●

- 「うちどく」のすすめ 連休など、おうちの方と家で過ごす時間に、「うちどく」をおすすめします。

「うちどく」に特別なルールはありません。家族で好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが基本です。同じ本をみんなで読めば、会話もいっそう弾みます。また、本をすすめあったり、読む本について相談しあったりすることでもコミュニケーションが生まれます。(トーハン HP より)

- ★ 「うちどく」について、詳しくは <https://www.tohan.jp/csr/uchidoku/> を見てください。「うちどくノート」、「うちどくブックガイド」がダウンロードできます。